

平林金属 創業70周年 鐵に魂を込める



港工場竣工式でのテープカットの様子

総合リサイクル企業として全国的な知名度を持つ平林金属（本社＝岡山県岡山市、平林美社長）は10月に創業70周年の節目を迎えた。1956年の創業以来、金属スクラップをはじめ、家電や小型家電のリサイクルなど幅広い事業を展開し、金属リサイクル業界で総合リサイクルのリーディングカンパニーとしての地位を築いている。節目の年を機に、平林社長やベテラン社員、若手社員らに創業70周年への思いや業務に懸ける思い、今後の展望について話を聞いた。

――創業70周年を迎えた感想を。

長年にわたり支えてくださったお客さまや、OB・OGの皆さま、そして現役の社員など、どなたが欠けてもここまで来ることができなかった。この場を借りて、全ての方に感謝を申し上げたい。今回、地元の祭りで長年の功労に対して贈られる「礎（いしづ）」という賞をいただいた。礎と言えどもこれは先人から受け継いできた想いを我々後輩たちがつないできた証だと、節目の年だからこそ強く感じている。

――創業当時の生業は。

シャーリングを備え、可鍛コロを加工処理し、鑄造メーカに販売していた。次第に一般のスクラップも扱うようになり、地元の同業者への販売をはじめ、姫路の同業者につないでいただいた。縁で船積みによる販路もでき、電炉向けの販売事業を広げていった。

内定辞退し、家業へ急転身

――現在も創業時の事業を忘れないという思いから、水島工場には可鍛コロを扱う部署を残しており、創業70年を迎えた今も、この事業を続けていることに大きな意味があると考えている。

――先代との思い出や入社後のエピソードについて。

私は当初、衣料メーカへの就職が内定していた。しかし、入社直前になって先代から「家業に入れ」と言われ、半ば強引に内定を辞退し、同業者の紹介で関東の金属リサイクル会社に入社した。そこで、金属スクラップに関する知識や現場での経験を学ばせていただいたが、転勤が決まったタイミングで先代から連絡を受け、急きょ家業へ戻ることにした。入社までの経緯はまさに激動で、環境の変化に対応するのは非常に大変だった。

――家業に入ってから苦労の連続だった。毎朝早い時間から現場作業に入り、改めて体力勝負の仕事だと痛感した。特に印象に残っているのが港工場の立ち上げだ。当時の先代は「廃タイヤは将来に燃料として活用される」という考えから、廃タイヤを大量に買い集め、取得していた土地に保管していた。

――しかし、結果的に燃料として活用されることはなかった。

人が最も大切な財産

――これまでの成長を支えた要因は。

金属リサイクルの現場は汚れることもあれば、体力的にも厳しい作業が多いにもかかわらず、頑張ってくれている社員のおかげだ。

――私が学生時代に家業でアルバイトをしていた頃、年配の社員らが毎日黙々と金属を切る作業に取り組み姿を見てきた。話を聞くと「家族を養うために、この仕事があることは本当にありがたい」と語ってくれたことが強く印象に残っている。

――その言葉に触れ、この人たちの生活を守るため、自分が会社を継がなければという思いが芽生え、会社は設備や施設だけでなく、人によって支えられているのだということを実感した。

――だからこそ、当社が成長できたのは社員一人ひとりの努力の積み重ねのおかげであり、当社に定せず、本格的に軌道に乗るまでには一年以上を要していた。しかし、当時の試行錯誤や苦労の積み重ねが、後にシュレッターが業界に不可欠となる中で大きな財産となり、家電リサイクルの仕事へとつながっていったのだと思う。時代の変化を先読みし、新しいことに挑戦した先代の姿勢が、今の当社の礎になっていると感じている。

――これからの成長を支えるために、人が最も大切な財産と考える。

――人が財産との考えから、人材採用に積極的だ。当社にとって大きな転機となったのが人材採用への本格的な取り組みだ。1994年当時、就職氷河期の入口とも言える時期で、企業の求人が少なく学生の数が多い状況だった。こんな時期に人を採れない会社であれば、この会社はただただのんびりとした生活を送るだけだ。1994年当時、就職氷河期の入口とも言える時期で、企業の求人が少なく学生の数が多い状況だった。こんな時期に人を採れない会社であれば、この会社はただただのんびりとした生活を送るだけだ。

――人財採用に積極的だ。当社にとって大きな転機となったのが人材採用への本格的な取り組みだ。1994年当時、就職氷河期の入口とも言える時期で、企業の求人が少なく学生の数が多い状況だった。こんな時期に人を採れない会社であれば、この会社はただただのんびりとした生活を送るだけだ。

祝 創業70周年 平林金属株式会社様

さらに力強く！
当社製二軸破碎機の
2倍以上の剪断力

SHRED Z

金属スクラップを
確実に剪断!!

処理対象物
分電盤、空調室外機、家電製品、鉄スクラップH2材、
アルミプレス品、アルミホイール、エンジンブロックなど

YouTube
動画公開中

KINKI 近畿工業株式会社

本社 / 〒650-0023 兵庫県神戸市中央区栄町通4丁目2番18号 ☎078-351-0770
東京支店 / ☎03-6263-2098 名古屋営業所 / ☎052-220-6651 九州営業所 / ☎092-402-3555 三木工場 / ☎0794-82-0100

祝 創業70周年 平林金属株式会社 様

三菱ふそう特約販売会社
岡山三菱ふそう自動車販売株式会社

本社 / 岡山市中区兼基 27-1 TEL (086) 279-0881

平林金属株式会社

本 社

岡山県岡山市北区下中野347-104

T E L 086-246-0011

F A X 086-246-1100

E-mail honsya@hirakin.co.jp

URL https://www.hirakin.co.jp

創 業 昭和31年10月

資 本 金 9980万円

従業員数 545名

拠 点

岡山工場（岡山市北区下中野406-1）

岡山東営業所（岡山市東区寺山33-1）

港工場（岡山市中区新築港1-22）

水島工場（倉敷市水島西通1-1920）

リサイクルファーム御津（岡山市北区御津高津120-13）

リサイクルファーム御津 第二工場
（岡山市北区御津高津120-12）

西大寺工場（岡山市東区西大寺新地108-5）

玉島物流センター（倉敷市玉島乙島字新湊8259-5）

山陰工場（鳥取県米子市旗ヶ崎2315）

境港工場（鳥取県境港市昭和町107-2）

まんのう営業所（香川県仲多度郡まんのう町公文361-1）

神戸オフィス
（兵庫県神戸市中央区磯辺通4-1-8ITCビルディング306）

名古屋オフィス
（愛知県名古屋市名東区香南1-401GIMUCO A号）

えこ便西古松局（岡山市北区西古松1-34-16）

えこ便並木町局（岡山市南区並木町2-27-33）

えこ便大安寺局（岡山市北区大安寺南町1-624-1）

えこ便西大寺局（岡山市東区西大寺新地108-5）

えこ便安倍局（鳥取県米子市安倍270）

eポスト 25店舗

グループ企業

株式会社ヒラキン リサイクルステージ玉島

ヒラキンテック株式会社

ヒラキン興産株式会社

株式会社ヒラキンブライト

葉豆瑠農園株式会社

たからさがし株式会社



平林 実 社長

「家電リサイクル事業に力を入れるきっかけは、1997年にドイツを視察した際、循環経済に関する法整備が進んでいる現状を目の当たりにし、日本でも同様の流れが来ると確信した。いずれ、家電リサイクル法が施行

されることを見据え、いち早く取り組みを開始した。当時は社内の理解を得るのに苦労したが、「必要とされる事業になる」と信じて進めた。現在、当社では家電のリサイクルの過程で回収したプラスチックを30種

プラスチックを分別

も多くの応募をいただけたようになり、「良い会社だ」と言ってくれる社

員も増え、グループ全体の社員数は545名規模にまでなった。

類以上に細かく分別し、高品質な原料としてメーカーへ供給できる体制を整えている。しかし、当初から順調だったわけではない。分別しても需要や販路がなく、回収したプラスチックを保管するしかない時期が長く続いた。それでも将来的に資源循環の重要性は高まると考え、分別技術の向上に取り組んできた。その後、

企業の間で環境負荷の低い原材料や部品を優先的に調達する「グリーン調達」の考え方が広がり、プラスチックのメーカーから高品質な再生プラスチックを求める声が増えた。当初はそうしたニーズに対応できる体制を先行して整えていたので、多くのメーカーに採用いただいた。中には、自動車のスピーカー部材など

にも使用され、世界的にも高いシェアで採用されるまでになっている。長年地道に取り組んできた分別と品質管理が評価されたことは大変嬉しいことだ。

「リサイクル拠点「えこ便」の開設の経緯について。子どもの頃、近所の廃品回収所に瓶や新聞を持って行くとお小遣いに

なった経験が原点にある。誰もが気軽に不要品を持ち込める場所があれば、違法な不用品回収を防ぐことにもつながると考え、明るく開かれた店舗づくりを意識して展開してきた。2015年7月に西古松局を開設したのを皮切りに拠点を広げ、環境省・経済産業省から循環型社会形成推進のための表彰をいただくなど、社

命と魂を吹き込む

「自社での技術開発にも力を入れている。リサイクル業界でさえ、人材の確保が容易ではない中、機械の修理を担う会社は、将来的にさらに少なくなっていくのではないかとという危機感があつた。そこで、自分たちの機械は自分たちで修理できる体制が必要だと考え、技術開発部を立ち上げた。さらにもっと

「自社の技術開発にも力を入れている。リサイクル業界でさえ、人材の確保が容易ではない中、機械の修理を担う会社は、将来的にさらに少なくなっていくのではないかとという危機感があつた。そこで、自分たちの機械は自分たちで修理できる体制が必要だと考え、技術開発部を立ち上げた。さらにもっと

「自社の技術開発にも力を入れている。リサイクル業界でさえ、人材の確保が容易ではない中、機械の修理を担う会社は、将来的にさらに少なくなっていくのではないかとという危機感があつた。そこで、自分たちの機械は自分たちで修理できる体制が必要だと考え、技術開発部を立ち上げた。さらにもっと

「自社の技術開発にも力を入れている。リサイクル業界でさえ、人材の確保が容易ではない中、機械の修理を担う会社は、将来的にさらに少なくなっていくのではないかとという危機感があつた。そこで、自分たちの機械は自分たちで修理できる体制が必要だと考え、技術開発部を立ち上げた。さらにもっと

「自社の技術開発にも力を入れている。リサイクル業界でさえ、人材の確保が容易ではない中、機械の修理を担う会社は、将来的にさらに少なくなっていくのではないかとという危機感があつた。そこで、自分たちの機械は自分たちで修理できる体制が必要だと考え、技術開発部を立ち上げた。さらにもっと

「自社の技術開発にも力を入れている。リサイクル業界でさえ、人材の確保が容易ではない中、機械の修理を担う会社は、将来的にさらに少なくなっていくのではないかとという危機感があつた。そこで、自分たちの機械は自分たちで修理できる体制が必要だと考え、技術開発部を立ち上げた。さらにもっと

「自社の技術開発にも力を入れている。リサイクル業界でさえ、人材の確保が容易ではない中、機械の修理を担う会社は、将来的にさらに少なくなっていくのではないかとという危機感があつた。そこで、自分たちの機械は自分たちで修理できる体制が必要だと考え、技術開発部を立ち上げた。さらにもっと

「自社の技術開発にも力を入れている。リサイクル業界でさえ、人材の確保が容易ではない中、機械の修理を担う会社は、将来的にさらに少なくなっていくのではないかとという危機感があつた。そこで、自分たちの機械は自分たちで修理できる体制が必要だと考え、技術開発部を立ち上げた。さらにもっと

「自社の技術開発にも力を入れている。リサイクル業界でさえ、人材の確保が容易ではない中、機械の修理を担う会社は、将来的にさらに少なくなっていくのではないかとという危機感があつた。そこで、自分たちの機械は自分たちで修理できる体制が必要だと考え、技術開発部を立ち上げた。さらにもっと

「自社の技術開発にも力を入れている。リサイクル業界でさえ、人材の確保が容易ではない中、機械の修理を担う会社は、将来的にさらに少なくなっていくのではないかとという危機感があつた。そこで、自分たちの機械は自分たちで修理できる体制が必要だと考え、技術開発部を立ち上げた。さらにもっと



SK210D
自動車解体機



SK260DLC
マグネース仕様

祝 創業70周年 平林金属株式会社 様

コベルコ建機日本株式会社
www.kobelco-kenki.co.jp

岡山営業所
〒700-0953 岡山県岡山市南区西市540-1 TEL:086-239-2332

祝 創業70周年 平林金属株式会社 様

粗大ゴミから金属スクラップまで一括混合破碎

堅型破碎機 KE-600

複合破碎だから
材質を問わない

均一性の高い
破碎物を生産

リバーシブル機能で
メンテナンス負荷も低減

For Earth, For Life
Kubota

株式会社クボタ
〒530-8366 大阪市北区大深町5番54号
グラングリーン大阪南館パークタワー
問い合わせ先 06-6470-5938

https://www.kubota.co.jp

平林金属

70年の歩み・拠点一覧

70年の歩み

1956年10月	平林久一氏 個人創業
1960年7月	有限会社平林商店 設立
1963年11月	平林金属株式会社に社名及び組織変更
1967年6月	野田本社工場 開設
1971年4月	第二工場(プレス工場) 開設
1972年8月	新岡山港営業所(現、港工場) 開設
1973年8月	水島営業所(現、水島工場) 開設
1981年8月	東岡山営業所(現、岡山東営業所) 開設
1989年9月	旧米子営業所 開設
1991年4月	港工場 開設
1995年4月	本社・ヒラキンビル 完成
1997年1月	ヒラキン興産株式会社に社名及び組織変更
1997年1月	岡山工場 新築
2001年4月	ヒラキンテック株式会社に社名及び組織変更
2001年4月	リサイクルファーム御津 開設
2001年11月	ソフトボール本拠地HIRAKINライズ球場 開設
2003年4月	山陰工場(鳥取県米子市) 開設
2005年2月	リサイクルファーム御津が岡山エコ事業所に認定
2006年4月	株式会社ヒラキンリサイクルステーション玉島 開設
2007年11月	西大寺工場・技術開発センター 開設
2010年11月	玉島物流センター 開設
2014年4月	代表取締役社長に平林美氏が就任
2015年7月	有人型資源集積拠点「えこ便西古松局」 開設
2016年4月	「えこ便安倍局(鳥取県米子市)」 開設
2017年6月	リサイクルファーム御津に第二工場 開設
2018年5月	資源回収ステーション「eポストサービス」を開始
2019年10月	西大寺工場で古紙リサイクルを開始
2020年2月	「えこ便西大寺局」 開設
2022年5月	使用済み家電製品入荷台数累計1000万台を突破
2月	農園の運営・コーヒーの輸入・製造・販売会社「葉豆園農園株式会社」 設立
6月	名古屋オフィス 開設
2022年5月	トレーニングセンター「HIRAKIN RISE BASE」 開設
5月	就労継続支援A型事業所「たからさがし株式会社」 設立
2023年6月	ヒラキン興産株式会社山口営業所(山口県周南市) 開設
2024年5月	駄菓子屋にじいろ夢商店(岡山県真庭市) 開設
2026年3月	まんのう営業所(香川県仲多度郡まんのう町) 開設
6月	ガス溶断専門拠点境港工場(鳥取県境港市) 開設

鳥取県

境港工場
山陰工場

岡山県

リサイクルファーム御津
岡山工場
本社
玉島物流センター
株式会社ヒラキンリサイクルステーション玉島
岡山東営業所
西大寺工場
港工場
水島工場

愛知県

名古屋オフィス

兵庫県

神戸オフィス

香川県

まんのう営業所

SUMITOMO

金属リサイクルの住友建機

祝 創業70周年
平林金属株式会社 様

快適な操作性もたらす、卓越の生産性
オペレータの視点で進化を遂げた
SH250-8 MH



住友建機販売株式会社

<https://www.sumitomokenkibanbai.co.jp>

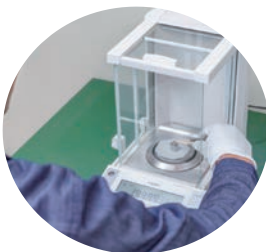
岡山支店 TEL:050-9002-0164 鳥取営業所 TEL:050-9002-5912 福山支店 TEL:050-9001-6601
広島支店 TEL:050-9001-8602 山口支店 TEL:050-9001-5980 周南営業所 TEL:050-9001-5983



祝 創業70周年 平林金属株式会社 様

「はかる」を、支える。

計量設備の製作から工事、検査・検
定、JCSS校正、点検・修理まで。質
量計量の現場を、技術で支えます。



はかり専門店

株式会社 山陽計測

本社

岡山県岡山市福吉町12-19
TEL:086-262-1816 FAX:086-274-8876
桑野工場・岡山質量校正センター
岡山県岡山市中区桑野721-8
TEL:086-274-8876
Email: info@sanyo-scale.com



港工場

港工場は、平林金属の資源リサイクル事業を支える中枢拠点として重要な役割を担っている。敷地面積は約3,100坪。月間約5,000トンの金属スクラップを取り扱う。新岡山港に隣接する立地を生かし、陸上と海上輸送を組み合わせた効率的な物流ネットワークを構築。原料の受け入

れから製鋼メーカーなどへの出荷まで、安定した物流体制を確立している。

設備は、大型シュレッダーやプレシュレッダーを備えたシュレッダープラントをはじめ、25年に更新した最新鋭の油圧シャワー、シュレッダーダストの選別ライン、金属・プラスチックの回収ラインなどを整備している。金属スクラップのほか、使用済み自動車や廃棄二輪車まで幅広く扱い、大型設備による破碎処理と高度な選別技術を合わせることで、さまざまな資源の再利用を可能にしている。

また、小型家電リサイクル法に基づく認定事業者として、小型家電の再資源化



境港工場

境港工場は、大型機械やプラント設備など、油圧シャワーでは処理が難しい大型スクラップに対応する全国でも珍しいガス溶断専門工場となる。竣工式には鳥取県知事、境港市長も出席し、地域経済や資源循環の推進につながる施設として大きな話題を呼んだ。同施設の敷地面積は約5,000坪。広大なヤードには重機6台をはじめとする各種設備が配置され、複雑な大型スクラップであっても柔軟に処理できる体制を整えている。同施設にはさまざまな強みがあり、その一つが独自のガス供給システムだ。ヤード内に酸素とプロパンガスの貯蔵タンクを設置し、地下配管を通じて各作業場へ直接供給する仕組みを採用。作業者は壁面の供給バルブにホースや吹管を接続するだけで作業を開始できる。こうした豊富な人材も競争力を支える大きな強みと言える。この強みを生かし、作業員を派遣して顧客の要望に応じた「ガス溶断の出張サービス」に対応している。

また、この方式によりポンプ使用時に発生するガス圧低下による火力不足が解消され、常に安定した高火力での溶断作

業が可能となった。さらに、貯蔵タンク方式は、ボンベよりも維持費を抑えられるため、エネルギー価格や資材価格が高騰する環境下でも安定した作業が行えるメリットもある。ヤードは広大で、最大10カ所同時にガス溶断の作業が可能だ。一方、安全対策も徹底。火災の拡大を抑制するため、風向きを考慮した作業棟の整備や金属専用消火器の配置で事故防止に努めている。

平林金属には176人のガス溶断の有資格者が在籍している。こうした豊富な人材も競争力を支える大きな強みと言える。この強みを生かし、作業員を派遣して顧客の要望に応じた「ガス溶断の出張サービス」に対応している。

主要拠点



リサイクルファーム御津

リサイクルファーム御津は、中西四国地区を代表する家電リサイクル施設として、資源循環型社会の実現に重要な役割を果たしている。同施設の名称には「資源を活かすための農場」という意味が込められ



リサイクルステージ玉島

平林金属グループの㈱ヒラキンが運営する「リサイクルステージ玉島」は、金属スクラップや使用済み自動車の再資源化を担う西日本有数の総合リサイクル工場として、グループの中核拠点の一つとなっている。

同施設の最大の特徴は、その高い処理能力にある。設備には1500馬力の大型シュレッダーをはじめ、プレシュレッダーや各種選別設備を配備。金属スクラップや使用済み自動車などを効率的に破碎・選別し、鉄、銅、ステンレス、アルミなどを回収している。こうした回収された再生原料は国内外の需要家へ供給され、その品質の高さから高い評価を得ている。また同施設は、金属スク

ラップの保管機能を持つ平林金属玉島物流センターや水島港に隣接していることから、金属スクラップや再生原料の輸送において陸送だけでなく海上輸送も効率的に行うことが可能だ。

さらに自動車リサイクル分野においても先進的な取り組みを進めている。4月に使用済み自動車から発生するパンパーやガラスなどを回収し、再資源化を促進させる「資源回収インセンティブ制度」がスタートしたが、同施設では25年10月にASRからポリプロピレン（PP）を高精度で選別する新たな選別プラントを設置し、本格稼働させている。従来、有効利用が難しいとされていた自動車由来のプラスチック資源の再資源化につなげ、リサイクル率の向上に貢献している。

特にプラスチックは、30種類以上を細かく選別。製造業者が求める高品位な製品原料としてさまざまな需要家へ供給し、高純度で選別したリサイクルPPが、世界的に高いシェアを

持つ車載スピーカーの部材に採用された実績を持つ。平林金属は、将来の再資源化ニーズを見据えた取り組みも進めている。同施設第二工場では、太陽光パネル専用のリサイクルラインを導入している。今後、増加が見込まれる使用済み太陽光パネルの再資源化に備えている。

また、家電リサイクル事業の高度化にも注力。23年6月には洗濯機専用のシュレッダープラントを新設した。従来は冷蔵庫と洗濯機を共用ラインで処理していたが、新設備の稼働により、解体から選別までの一貫処理が可能となった。処理能力の向上に加え、高純度のPPをはじめ、PSやABSなどをより効率的に単一回収できるようになり、プラスチック資源の循環利用の拡大にもつながっている。

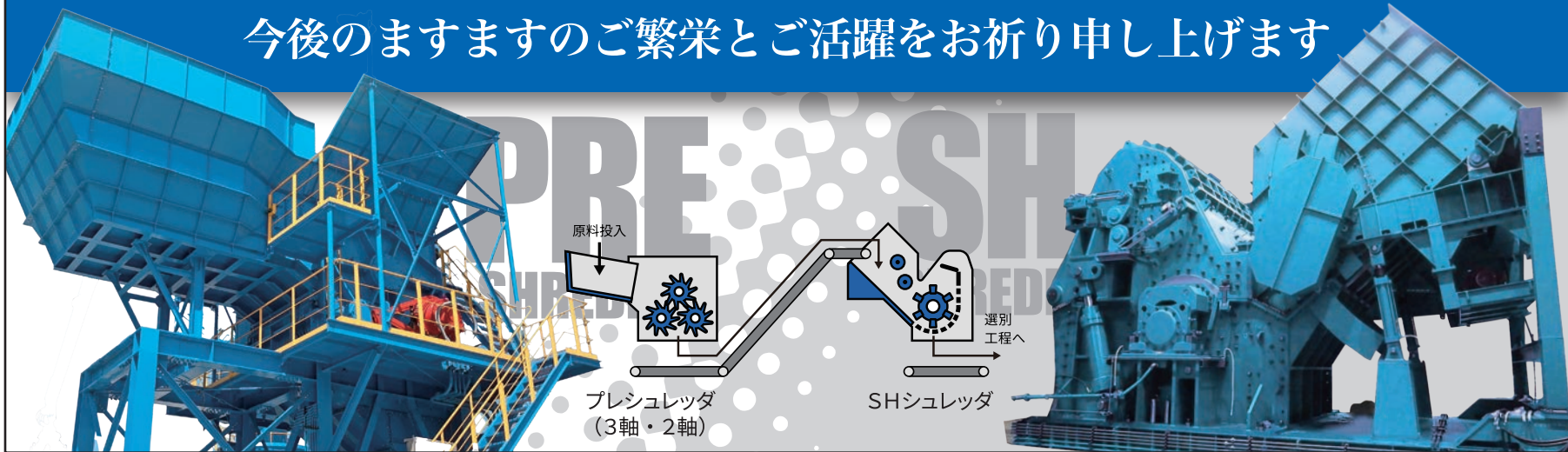


平林金属株式会社 様

ご相談はアーステクニカへ▶



創業 70 周年 おめでとうございます
今後のますますのご繁栄とご活躍をお祈り申し上げます



を支える社員インタビュー



境港工場
藤田 慎士(ふじた・しんじ)氏
2024年4月 入社

入社後の業務は、インターンシップに参加し、社員の皆さまの手柄や会社の雰囲気、魅力を感じた。さらに選考の中で、平林社長の話を聞き、「新しい製品が世の中に出る時には、その製品をリサイクルする仕組みも必要になる。静脈産業は欠かせない存在だ」という話に強く共感した。社会を支える仕事に魅力を感じ、入社を決めた。

入社後の業務は、大学が鳥取だったこともあり、山陰工場への配属を希望した。山陰工場では、銅スクラップの加工を中心にお客さまの荷受けや重機を使った作業に従事した。境港工場へ異動。

ガス溶断の魅力を伝えたい

の楽しさは変わらない。ガス溶断の担い手不足について。ガス溶断は「暑い」という印象があるが、境港工場では日差しや雨風をしのげる作業スペースに加え、スポットクーラーやミスト扇風機、空調など、作業環境が整備されているため、負担はかなり軽減される。また、ガス溶断の作業には特別手当も支給される。このように作業が働きやすい環境を整えることが、担い手不足の解消につながると思う。ガス溶断はとても面白い仕事なので、若い人にもぜひ挑戦してほしい。

仕事のやりがいは、自分が選別・加工したスクラップの販売価格を上回ることが多い。一社売の売り上げに貢献しているという評価されたことが大きな転機だ。それ以降、金属の種類や価値について積極的に学ぶようになり、知識が増えるほど仕事の面白さも増し、やりがいを感じている。



リサイクルステージ玉島
三谷 岳史(みたに・たかし)氏
2008年4月 入社

入社後の業務は、岡山工場で4年間勤務した。その後は境港工場へ異動し、約10年間、重機や各種機械を使ったスクラップの積み降ろし、仕分け、加工作業に従事した。現在はリサイクルステーション玉島で現場の管理や配車業務を任されている。

社内屈指のオールラウンダーとして知られている。業務に必要な資格はその都度取得してきた結果、今では約40種類の資格を持っている。重機や車両で乗れないものはほとんどなく、現場作業も幅広く対応できることが自分の強みだと思える。

自信のある作業は、港工場では毎日のように重機を操作していた。特に使用済み自動車や解体する解体機には誰にも負けない自信がある。現在の業務は、大型解体の案件を担当することが多く、配車の手配をはじめ、現場監督のような立場で現場運営を任されている。これま

培った技と経験を次世代へ

で関西の廃工場や、東北の9万坪に及ぶ大規模な解体プロジェクトにも参加した。そこで得た経験が現在の仕事にも生かされており、大規模な案件を任されることが自信につながっている。

若手社員が増えていく中で、心がけていくことは、休憩時間を利用してできるだけ雑談を交わし、コミュニケーションを取るよう心がけている。私が入社した頃は「仕事は見て覚えろ」という時代だった。だからこそ、若手社員には気軽に質問できる環境を作りたいと思っている。

めざすことは、将来は工場長として工場運営を担い、幅広い業務をこなせる「オールラウンダー」の育成に力を入れたい。現場職や営業職など、互いの立場や考えを理解する機会が少ない。幅広い知識と経験を持つ人材が増えれば、情報共有や連携が進み、工場全体のレベルアップにつながるはずだ。



リサイクルステージ玉島
岡崎 栞菜(おかざき・しおな)氏
2014年4月 入社

入社後の業務は、岡山県内の高校でソフトボールをしており、卒業後も競技を続けたいと思っていた。祖母からソフトボール部がある平林金属を教えられ、「入社するなら平林金属へ行きなさい」と勧められたことがきっかけとなり、入社を決めた。

現在の業務について。入社後、リサイクルファーム御津で約10年間勤務し、家電リサイクルやプラスチック選別を担当していた。昨年から、その経験を買賣、リサイクルステージ玉島に勤務し、ASRからプラスチックを回収する選別プラントの管理を任されている。プラントの立ち上げでは、技術開発部やヒラキンテックと打ち合わせを重ね、設備づくりを進めた。ソフトボールを通じて築いた関係もあり、意思疎通が図りやすく、自分の意見も取り入れてもらうことができた。現在は選別データを社内共有し、機械トラブルも相談しながら、選別精度の向上や設備改善に取り組んでいる。

ソフトから次の舞台へ

ソフトボールの引退後も会社に残っている。以前は、女子ソフトボール部では引退選手が多かったが、最近では私のように会社に残る人も多い。私自身、ミックスプラスチックの選別に携わる中で、自分の工夫次第で選別精度が上がるなど、努力の成果が目に見えて表れることに面白さを感じた。ソフトボールとは違う仕事のやりがいを見つけた。引退後も会社に残ることを決めた。これから取り組んでみたいことについて。女性の視点も生かしながら、誰もが働きやすい作業環境をつくらしていきたい。これまでASRの粉じん対策として、コンベアへの囲いの設置や散水設備の増設、集塵機の清掃強化に取り組みできた。今後は現場の整理整頓や作業動線を見直し、さらなる作業の効率化につなげたい。

祝創業70周年
おめでとうございます

平林金属株式会社 様

株式会社ナニワプロジェクト
NPX
大阪府泉大津市臨海町1-21
0725-20-2801

その場で素早く元素分析。Vantaシリーズ最新機種
Vanta Element
キャンペーン価格実施中

国内修理 税制対応 3年保証

295 税抜き本体価格 万円

祝 創業70周年
平林金属株式会社様

HIAB

中四国ローダー販売株式会社

・コンテナ脱着装置 販売
・産廃スクラップ用クレーン 販売

創業70周年特別企画

平林金属の今



経営企画部広報課
木元 美里 (きもと・みさと) 氏
2026年4月 入社

「入社の経緯は。前職では広告代理店に12年間勤務していた。1年目から平林金属を担当し、「そこへ」のテレビCMやチラシ、ホームページなど幅広い制作に携わった。仕事を通じて平林金属という会社やリサイクル業界に魅力を感じ、転職を考えたようになった。長年担当してきた平林金属への思い入れも強く、リサイクルの魅力を伝える仕事は楽しそうだと思い、入社を希望した。」

「入社後の業務は。広報業務を担当し、テレビ・新聞広告や記者会見などのメディア対応をはじめ、SNSやホームページの運用などを手がけている。」

リサイクルの魅力を広く伝えたい

「広報活動の中で、心がけていることは。リサイクルを一般の皆さまに分かりやすく伝えることを心がけている。自分自身も入社して日が浅いため、専門知識がない人の視点を忘れず、誰にでも伝わる言葉で情報を発信している。」

「反響があった広報は。7月に、ガス溶断の作業風景を中心にリサイクル現場の魅力を発信するInstagram公式アカウントを開発した。ガス溶断の動画を投稿したところ、わずか1日で3万5,000回以上再生された。開設間もなく、フォロワーもまた少ない中で予想以上の反響があり、とても嬉しかった。」

「今後について。インナーブランディングの強化に取り組みたい。当社グループの社員数は500人を超え、全員が一層に会える機会はない。会社の規模が大きくなるほど、思いや価値観の共有も難しくなる。社員一人ひとりが同じ方向を向き、「この会社で働いて良かった」と実感できるような情報発信に努め、より良い組織づくりにつなげたい。また、リサイクルの魅力を広く発信し、業界全体の地位向上にも貢献していきたい。」



サーキュラーエコノミー推進部
花房 茉奈美 (はなふさ・まなみ) 氏
2016年4月 入社

「入社の経緯は。環境や森林保全が学べる専門学校に通っていたことから、自然環境の保護やごみの削減に貢献できる仕事に就きたいと考えていた。就職活動中に大阪で開催された合同企業説明会で平林金属のブースを見つけて訪問したところ、説明してくれた女性社員の姿がとても印象的で、「この人、すごかった。この会社で働きたい」と強く感じたことを今でも覚えている。」

「現在の業務は。入社後は技術開発部に配属され、最初の1年間はヒラキントックで修行した。その後、プラスチックの比重選別や効率的な選別方法の検証など、リサイクル技術の研究開発を通じて知識や経験を積んだ。そこで培った経験を生かし、現在はサーキュラーエコノミー推進部に所属しており、製品メーカーや行政などから寄せられる相談などについている。」

「環境を良くしたい」という思いで仕事をしている中で、役目を終えたものを新たな資源として生かすことで、「地球をきれいにできた」と実感し、大きなやりがいを感じる。また自分が考えたリサイクルスキームが、将来全国へ広がっていく可能性があることも、今の仕事の楽しさにつながっている。」

リサイクルで地球をきれいに

「これまでの業務で印象に残っていることは。以前、岡山市との取り組みで、一般家庭から回収したプラスチックのリサイクルスキーム設計に携わった。機械トラブルなどに備え、当社の複数工場に対応できる体制を提案したところ、担当者から「万が一のことまで考えてくれて嬉しい」と言ってもらえた。自分の提案が相手の役に立ったと実感でき、とても印象に残っている。」



ヒラキントック
水野 拓実 (みずの・たくみ) 氏
2016年4月 入社

「入社の経緯は。岡山県内の大学に通っていた頃はソフトボールに打ち込んでおり、国体候補に選んでいただいたこともあった。当時、平林金属ソフトボール部はクラブチームだったため、自分も平林金属の選手として登録していたが、日本リーグなどトップレベルでプレーした卒業後もソフトボールを続けたいという思いが強く、競技と仕事の両方に取り組める環境に魅力を感じ、入社を決意した。」

「現在、携わっている業務は。入社してすぐは技術開発部に所属し、リサイクルの知識を学ぶため、ヒラキントックでリサイクルの関連設備の仕組みや導入効果の検証に携わった。その後はリサイクルファーム御津で冷蔵庫処理ラインの作業や関連設備の状況確認などを担当し、約3年半勤務した。現在はヒラキントックに所属している。本格的にリサイクル関連設備やプラン

「お客さまの利益を生む技術提案。お客さまのほとんどが同業のリサイクル事業者だ。当社は平林金属のグループ会社である強みを生かし、設備やプランを提案する前段階で、平林金属へ実際に導入して稼働させている。そのため、お客さまから相談された際に、「平林金属を見学していただきたい」と言える環境が大きな強みと思う。」

「業務で普段から心がけていることは。お客さまの利益につながる提案をすることを何よりも心がけている。そのため、導入効果が見込めない場合は、設備を勧めないことを率直にお伝えすることもある。その結果、多くの相談をいただき、頼りにしてもらえていることが何より嬉しく、大きな励みになっている。」

お客さまの利益を生む技術提案

「お客さまのほとんどが同業のリサイクル事業者だ。当社は平林金属のグループ会社である強みを生かし、設備やプランを提案する前段階で、平林金属へ実際に導入して稼働させている。そのため、お客さまから相談された際に、「平林金属を見学していただきたい」と言える環境が大きな強みと思う。」

祝創業70周年 平林金属株式会社様



●(特)1250型ニューギロ

人と地球のいのちを守る

MORITA
株式会社モリタ環境テック

www.morita119-kt.com

東日本営業部
〒274-0081
仙台営業所
〒983-0034
西日本営業部
〒581-0067
名古屋営業課
〒461-0048
福岡営業課
〒811-2305
船橋工場
〒274-0081

千葉県船橋市小野田町1530番地
TEL (047) 457-8131 FAX (047) 457-8133
仙台市宮城野区扇町1丁目6番34号
TEL (022) 785-8115 FAX (022) 785-8116

大阪府八尾市神武町1番50号
TEL (072) 925-4007 FAX (072) 925-4008
名古屋市東区矢田南1丁目2番8号
TEL (052) 721-5336 FAX (052) 721-5356
福岡県糟屋郡粕屋町大字柚須132番地1
TEL (092) 624-5122 FAX (092) 624-5126
千葉県船橋市小野田町1530番地
TEL (047) 457-5111 FAX (047) 457-5110

- ギロチンプレス®
- ニューギロ®
- トラスホッパー®
- スクラッププレス
- シュレッタ
- 縦型破碎機
- その他各種

HITACHI
Reliable Solutions

祝 創業 70 周年
平林金属株式会社様
ZAXIS 330LC

LANDCROS

日立建機日本株式会社 中国・四国支社 東中国支店
〒710-0261 岡山県倉敷市船穂町船穂 1216-10 TEL:086-552-5240 / FAX:086-552-5241